

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語	5	1年全クラス

使用教科書	副教材
NEW TREASURE STAGE1 (Z会出版) Sunshine English Course 1 (開隆堂)	NEW TREASURE STAGE1 CDs for Students (Z会出版) NEW TREASURE STAGE1 文法問題集 (Z会出版) 新ユメタン0 (アルク)

1. 学習の目標

<p>◎正しい発音を身につけ、英語の音を正確に聞き分けられるようにする。 7. 正しい英語を発声できるようにする。 4. 徹底したディクテーションやシャドーイングにより英語の耳を作る。</p> <p>◎基本的な英文法を頭で理解した後、反復練習により定着させる。 7. 教科書基本例文と本文は反復練習を多く行う。 4. 基本的なドリルを大量に解き、繰り返すことで、英文を覚える。</p>

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
主体的に授業に参加し、かつ家庭学習も欠かさない。語学学習の基礎を繰り返し行い、努力する姿勢を怠らない。	基本的な文法を理解し、作文や会話表現とのつながりを意識することができる。	音読や英作文を反復して行い、英文を暗記し発話や英作文に活かす。また、それを発展させ、自身の考えを表現することができる。	英語学習を通じて異文化理解を深める。また、習得した知識を「読む、書く、聞く、話す」の4技能を用いて理解を深める。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	身の回りの英語	・身の回りの語句や基本的な表現を覚える。	・中間試験 ・期末試験 ・提出物 ・自習ノート ・小テスト
		アルファベット	・アルファベットを正しく発音できるようにする。	
	5	be 動詞①	・使い分け、否定文・疑問文の作り方を学ぶ。	
		be 動詞②	・what、who の入った応用形を理解する。	
	6	一般動詞①	・1人称と2人称に限定し、否定文・疑問文の作り方を学ぶ。	
		単数と複数	・冠詞も絡めながら、英語特有の名詞感覚を理解する。	
7	一般動詞②	・3単現のs や does を使った否定文・疑問文について学ぶ。		
2	9	疑問詞①	・where、when など基本的な疑問詞について学ぶ。	・中間試験 ・期末試験 ・提出物 ・自習ノート ・小テスト ・ユメタンテスト
		疑問詞②	・whose、how、which など応用的な疑問詞について学ぶ。	
	10	命令文	・様々な内容について指示できるようになる。	
		can を用いた文	・can を通じて助動詞の基礎を学ぶ。 否定文・疑問文の作り方を学ぶ。	
	11	現在進行形	・基本イメージを学び、現在形との違いを認識する。 否定文・疑問文の作り方を学ぶ。	
		一般動詞の過去形	・規則動詞を使って、否定文・疑問文の作り方を理解する。 不規則動詞をたくさん覚える。	
3	1	be 動詞の過去形	・be 動詞の基礎を確認しながら学んでいく。	・中間試験 ・期末試験 ・提出物 ・自習ノート ・小テスト ・ユメタンテスト
		過去進行形	・現在進行形を復習しながら学んでいく。	
	2	it の特別用法	・it の持つ基本イメージを押さえながら学習する。	
		未来を表す表現	・will の基本イメージを掴む。 ・be going to の基本イメージを掴む。 ・両者の違いを識別する。	
	3	いろいろな助動詞	・can、will に加え、must や may についても学んでいく。	

- ※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。
- ※ スキマ時間を使い、数字・曜日・月・序数・人称代名詞などを適宜覚えていく。
- ※ 朝学習の時間を使い単語の勉強、単語の小テストを行う。